

おとくにしんぶん 12

2013

http://www.otokuni-jc.org/

発行/公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3丁目 10-16 長岡京市立産業文化会館2F 編集/JC 運動情報委員会

Contents

卒業生からの一言

十一月オープン例会

乙訓の元気



十一月オープン例会

十一月十四日(木)、長岡京市中
央公民館三階市民ホールに於いて、
人間力向上委員会担当の十一月オー
プン例会が開催されました。
本例会は、講師に四方啓暉氏をお
招きし、「ひとの為の心を尽くす行
動力」をテーマにご講演頂きました。
四方氏は顧客満足、社員満足及び
リーダーの役割について、ご自身の
体験談を交えながら丁寧に解説して
下さいました。顧客満足に関しては、
ターゲットとするお客様の要望を
確認し肌理細やかなおもてなしをす
る事で、「第二の我が家」としてくつ
ろいでもらうことが重要であると教
えて下さいました。
社員満足に
足るに
しては、社
員を信
頼し社
員自身



が成長できる環境作りをする事が
重要であると教えて下さいました。
リーダーの役割に関しては、組織
の構成員全員が同じ理念を持つて
行動できているかを把握し、常に
構成員全員のやる気を持続させる
事が重要であると教えて下さいまし
た。
例会最後の委員会まとめにおい
て、今年度に開催された人間力向
上の為の三例会の意義を説明して
頂きました。会員それぞれが、「人
間力向上」について真剣に考える
貴重な機会となりました。
(記事 谷川 真也)

会員募集

青年会議所(JC)は「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条
として様々な活動をしている青年経済人の集まりです。会員資格は二十歳から四十歳迄と年
齢制限があり、メンバーは限られた時間の中で次代のリーダーとなる責任感を持ち切磋琢磨
しています。地域の産業を担う青年経済人の人的ネットワークを広げ、より青年会議所運動
を展開する為に、メンバー一同、共に夢を語り合える仲間としてJCの扉を開いて頂ける事
をお待ちしています。乙訓青年会議所では随時メンバーを募集しております。
ご興味がある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(〇七五-九五七-一一三〇)まで

文化少年団



十一月十七日に、文化少年団十一月事
業「科学で遊ぼう」が長岡京市多世代交
流ふれあいセンターで開催されました。
まず初めに、先生からの話を聞きそして、
実験に使う道具を自分達で作りました。
上手に出来ない子どももいましたが先生
やメンバーに助けてもらいながら作りそ
れを使った実験では、皆が興味津々に真
剣に実験に取り組んでいました。この事
業では普段学校などで、経験出来ない体
験や学びが出来たのではないでしょう
か。またこの体験でみんなが科学に興味
を持つてもらえればなと思いました。
(記事 黒川 昌哉)

乙訓の元気

長岡京市ガラシヤ祭



十一月十
日長岡京市
にて「長岡
京ガラシヤ
祭」が開催
されました。
明智光秀の娘(玉)は織田信長の命によつ
て政略的に当時、乙訓一帯を支配してい
た戦国大名の細川忠興のもとに嫁いで来
ました。その「玉」の輿入れの様子を再
現する行列巡行を開催しようと市民の方
から声があがり、「長岡京ガラシヤ祭」
として広く市民の方々に親しまれていま
す。
当日は雨天の為、行列巡行は中止とな
りましたが、長岡京中学校の体育館でお
披露目があり、多くの市民の方々が会場
は大いに賑わっていました。
(記事 中路 耕太)

編集後記

本年度、広報を担う委員会として一年
間活動して参りました。地域の様々な方
にお世話になりました。ありがとうございます
ございました。今後もおとくにしんぶん並
びに乙訓青年会議所をどうぞよろしくお
願い申し上げます。一年間頑張つて活動
した委員会メンバーに対しまして心よ

り感謝申し上げます。ありがとうございます
ました。
(委員長 崔 祥龍)

本年度、JC運動情報委員会として最
後のしんぶんとなりました。色々有難
うございました。
(編集長 副委員長 谷口 直満)

理事長対談

田中理事長予定者×岡村猛理事長

(岡村理事長) 予定者の段階から約一年半活動し
てきたスローガン「直心熱動」にかける想いで
すが、十年青年会議所活動をしてきて先輩や同
志や後輩に色々な事を教えてもらって来た中で
一番教えてもらったのがこの「直心熱動」でした。
素直に何でも聞いて本気でやるから見えてくる
ものがあるんじゃないかとの想いをメンバーに
伝えたくこのスローガンにしました。

二〇一三年度は大きな特徴がありました。それ
は一五名の卒業生がおられる事です。二〇一四
年度は理事メンバーはもちろん、メンバーも変
わる事によってLOMの雰囲気が変わる節目の
年になるのではないかと思います。テーマに「次代
に繋げようJAYCEEの誇り、すべては輝く乙訓の為に」
乙訓の為に」としました。これは卒業生も含め、
乙訓の事や青年会議所活動の事を若いメンバ
ーに伝えなければならぬと思ひ、「直心熱動」と
いうスローガンにしました。

(田中理事長予定者) 若いメンバーや新しいメン
バーに対してもしっかり活動してもらわな
いと成長出来ないのが青年会議所活動だと思いま
す。また私が掲げます「不動心!未来への原動
力となれ!」の中
の不動心は茶道の
精神から取らせて
頂きました。その
中で「清い心」と
いう部分は岡村理
事長の掲げます「直
心」の部分に繋が
ると思ひますので
「直心熱動」の想い
を受け継いで二〇
一四年度も活動し
ていきたいと思ひ



2013年度第34代理事長 岡村 猛

平成16年 乙訓青年会議所 入会
平成22年 組織力向上委員会 委員長
平成24年 副理事長
平成25年 乙訓青年会議所 理事長

また十五名が卒業し新しいメンバーが理事を経験
します。そのメンバーが先輩の今までの経験や想
いを受け継いでもらう一年なると思ひますので正
副、室長はもちろん岡村理事長にも直前理事長と
して御指導頂きたいと思ひますので宜しくお願
いします。

(岡村理事長) 三十五周年ですが、私も二十五周
年の時に入会し、周年とは何たるかを分りませ
んでしたが、三十周年の年に副委員長をさせて頂
いた周年事業の忙しさや大変さをして、先輩方や行
政の方、他LOMのメンバーを招いて行う式典、
懇親会の重要性を伝えてもらいました。委員会だ
けではなく全体で集まり行う事でLOM全体が一
つになれると思ひますし、また十五名のメンバ
ーが卒業されLOMの雰囲気変わる時に三十五周年
を迎えるのは、メンバーがまた一つになれるちよ
う良い時期ではないかなと思ひます。今、乙訓
メンバーは乙訓地域以外のメンバーも多く在籍し
ていますが、先輩諸兄から脈々と受け継がれてい
る乙訓の良さを継承して邁進していく事を願つてお
ります。

(田中理事長予定者) 私も、二十五周年、三十周
年と経験させて頂いてメンバーが委員会の枠を超
えて一つの目標に向かって取り組む式典、懇親会、
記念事業は大変重要だと思ひます。例年の事業に
加え周年事業と重なる事で大変な事も多いと思
いますが、そこでメンバー同士の絆も深まると思



2014年度第35代理事長予定者 田中 俊幸

平成12年 乙訓青年会議所 入会
平成18年 広報渉外委員会 委員長
平成24年 専務理事
平成26年 乙訓青年会議所 理事長予定者

ますし、乙訓青年会議所が一つになれると思ひま
す。また各個人が今まで経験してきた事を活かして、
一人ひとりが担いを受けて成功に向かって行ける
様に私達も取り組んでいきます。
(岡村理事長) 今まで先輩諸兄が伝えてこられた
事は「直心熱動」の中にもありますし、情熱を持
つて活動する事は、今までのスローガンの中にも
あったと思ひます。それを来年は三十五周年でも
あるので若いメンバーにも伝えて頂きたいと思
ひますし、周年を期にJC活動に対して不安を
持つているメンバーにも、不安を払拭し熱心に活
動して頂く事が大事だと思ひます。それには理事
メンバーがどれだけメンバーを巻き込んで活動出
来るかが重要であると思ひますので、理事長には
先頭に立って伝えて頂きたいと考えております。
(田中理事長予定者) 二〇一四年度はスローガン
に「不動心!未来への原動力となれ!」と掲げさ
せて頂きます。茶道の心でもある「和敬清寂」の
中から不動心という言葉を選びました。「和敬清
寂」という言葉は、和は人と人との和、敬は敬う心、
清は清らかな心、寂は三つの行動から成り立つ揺
れ動かない不動の心を磨く事でメンバー一人ひと
り、また地域の方々一人ひとりが清らかな心と人
を敬う心を持つ事で和が生まれ、その中で揺れ動
かない心を持つ事で明るい豊かな社会に繋がると
私と思ひます。先輩から受け継いだ熱い想い、そ
して強い意志で動く乙訓青年会議所をしっかり受
け継がなければなりませんし、強い意志というの
は私の掲げます不動心の中にもあると思ひます。

JC 運動情報委員会
委員長 崔祥龍 編集長 谷口直満 副編集長 中路耕太
編集委員 岩井泉二郎 黒川昌哉 高井茂行 谷川真也 堤淳太 中小路健吾